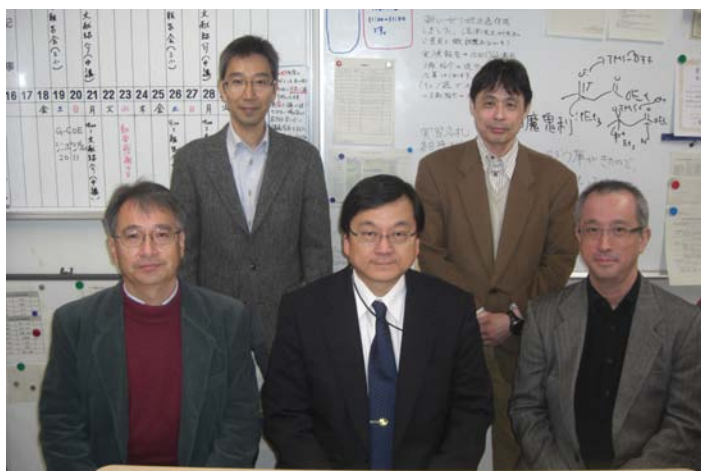


24期生（旧薬品合成化学教室出身者）便り

2011年11月20日（日）、仙台国際ホテルにおいて、1984年に薬学部を卒業した同窓生、1984年に大学院に進学した同窓生が集まり、東日本大震災の復興祈念を目的とした「東北大学薬学部59年の会」が開催されました。この機会を利用し、1983年に薬品合成化学教室に入室した男性メンバー4人は、ひと足早く11月19日（土）の昼過ぎに理薬生協に集合し、その昔、仙台で過ごした証のひとつでもある研究室を訪問させていただきました。当日は、お忙しい中を岩渕教授に迎えていただき、地震当日とその後の研究室の状況を説明いただくと共に、当研究室出身者の近況等で話を交わしました。

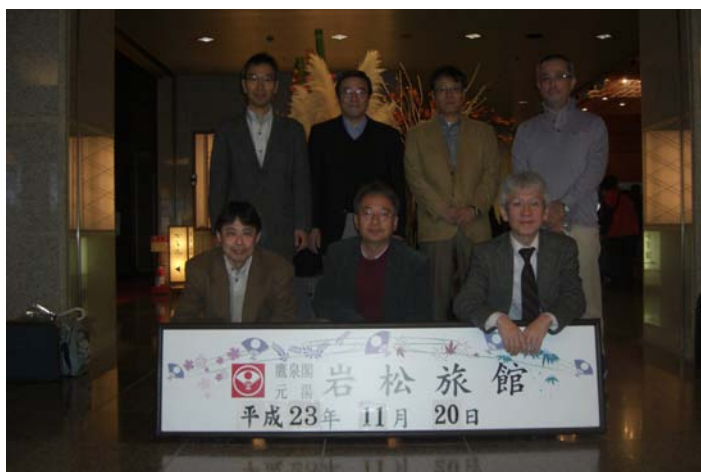


合成制御化学分野のゼミ室にて
(2011年11月19日)

後列左より、
佐藤誠司、佐藤正人

前列左より、
鈴木雅博、岩渕教授、西沢伸一

夜には、仕事のため研究室の訪問が叶わなかった瀬尾さん、翌日の「東北大学薬学部59年の会」の幹事の労を取られた小泉さん、田中さんも合流し、作並温泉の岩松旅館で前夜祭を行いました。こちらも、20代の学生に戻ったかのように、夜の更けるのも忘れ、昔話で盛り上がりました。



作並温泉・岩松旅館にて
(2011年11月20日)

後列左より、
佐藤誠司、小泉運治、田中善孝、
西沢伸一

前列左より、
佐藤正人、鈴木雅博、瀬尾賢次

50歳台となり、今は皆夫々の人生を歩んでいます、確かにその昔、仙台という街で、一緒に青春時代を過ごしたことを思い出させてくれた2日間でした。

(文責：鈴木雅博)